

令和 4 年 2 月 10 日時点

(1) 事務事業の概要				
① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない		
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	・交通安全の観点から必要な箇所には標識・照明灯・区画線等の交通安全施設の新設を行う。また、以前設置された交通安全施設の維持補修・更新を行う。 ・交通安全施設・・・防護柵（ガードレール）、照明灯、標識（案内標識、警戒標識）、区画線、路面表示、カーブミラー等 ・歩道設置や交差点改良は別事業で実施し、近年では、危険箇所へのカラー舗装等の注意喚起、耐用年数を迎えた防護柵、カーブミラーの更新、また昨年度実施された警察、学校、教育委員会と通学路の緊急合同点検を行った箇所への対応が中心になっている。			
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化		⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
交通事故の減少を目的として事業が開始された。		自動車の増加や、市道の総延長の増大により、交通安全施設の対策必要箇所は増えている。また、以前整備された交通安全施設は老朽化が進んでいる。		市民から、道路における交通安全施設の設置要望や不具合の情報等が多数寄せられている。また、近年相次いだ通学中の児童の交通事故を受けて通学路の安全対策が求められている。

従事職員数 常時 1 人 最大 3 人 × 30 日 = 延べ 90 人

(8) 成果目標の動向

年度	成果目標の動向 (推定値)
H29	340
H30	440
R1	480
R2	500
R3計画	520

① 進捗状況														☐ 完了		☐ 順調		☒ 概ね順調		☐ 停滞		☐ 実施困難	
評価内容	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)																						
	② 成果の状況		成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい	☐ 低下	成果比較 成果動向	比	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度							
			成果指標イ				☐ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下		ア	29年度	30年度	1年度	2年度	3計画							
									イ		62	101	43	23	21								
③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容				今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他()													
		令和3年度	交通安全施設の設置・管理 通学路の危険箇所への対応 長寿命化計画の実施				令和3年度	交通安全施設の設置・管理 通学路の危険箇所への対応 長寿命化計画の実施															